

日本に、どんな性差があるか  
(What Are the Gender Differences in Japan?)

フーページ

Peijie He

82-372 Advanced Japanese II

1. はじめに

この文化プロジェクトのトピック質問は「日本に、どんな性差があるか」だ。このトピックを選んだ理由は、私は、中国にいる時に、よく日本の女性は家で家事をして、男性は外で働くという伝統を聞いた。でも、これは本当かどうかわからない。いろんな日本アニメを見た後で、現在の日本の女の子はあまり家事をしない印象を持ってきた。だから、現代の日本女性の役割はもう変化したかもしれないと思う。そして、もし今の日本に本当にそんな性差があるなら、私は日本で、ほかの性差があるか、どんな性差があるかを知りたい。だから、このトピックを選んだ。今の暫定的な結論は、日本に良くない性差別はまだあるけど、皆さんは様々な性差別を解消するために頑張っている。

2 . 日本に、どんな性差があるか？

2 . 1 . 日本語の中にどんな性差があるか？

中国語でも英語でも、声を聞かなくて文しか見えないなら、それは男性の発言か女性の発言がどうか分からない。でも、日本語の文を見るなら、その発言者の性別が分かる可能性がある。例えば、日本語にいろんな「I」の意味言葉があるけど、「俺」と「僕」はたいてい男性しか使わない。同じく、「うち」、「あたし」を使っているのは大体女性だ。自称詞以外に、対称詞の使い方も違う。男性は「おまえ」、「てめえ」と「あいつ」を使って、女性は「あんた」を使う。中立的な自称・対称代名詞の「私」、「あなた」と「きみ」もある。終助詞も女性的終助詞、男性的終助詞、中立的終助詞という三つの種類に分かれている。女性は「わ」、「ね」を使って、男性は「さ」、「ぞ」、「ぜ」を使う。中立な終助詞には「よ」、「か」、「な」がある。

2 . 2 . 今の日本社会に、どんな性差と性差別があるか？

性差別というのは、まず進学率の性差別がある。2015年の新聞のように、鹿児島県の県知事が「サイン、コサイン、タンジェントを女の子に教えて何になる？」と言っ

た。残念だが、近代化になった後で、現代の高等教育をもらった日本人はまだ「女子に高等教育は必要ない」と言う封建的な考え方を持っている。2015年の春の男女の大学進学率を都道府県別に計算したグラフにとして、大学進学率の性差がもっとも大きいな北海道は1.4倍ものさが出ていた。

表1 2015年春の県別・性別の大学進学率

	合計	男子	女子	男/女
北海道	41.6	48.3	34.5	1.40
青森県	36.3	38.3	34.2	1.12
岩手県	35.5	37.9	33.1	1.14
宮城県	46.0	48.6	43.3	1.12
秋田県	37.5	39.9	35.1	1.14
山形県	38.8	40.9	36.6	1.12
福島県	37.8	40.7	35.0	1.16
茨城県	51.2	55.0	47.1	1.17
栃木県	48.2	51.3	44.9	1.14
群馬県	46.0	49.9	42.1	1.19
埼玉県	51.1	57.6	44.2	1.30
千葉県	52.6	58.5	46.4	1.26
東京都	72.8	73.4	72.1	1.02
神奈川県	54.9	59.2	50.4	1.17
新潟県	41.8	45.0	38.5	1.17
富山県	44.6	48.7	40.4	1.21
石川県	48.3	51.6	45.0	1.15
福井県	46.9	52.8	40.6	1.30
山梨県	56.2	63.4	48.6	1.30
長野県	42.9	47.7	37.8	1.26
岐阜県	45.5	49.1	41.7	1.18
静岡県	48.4	53.6	43.0	1.25
愛知県	52.3	55.7	48.7	1.14
三重県	44.3	47.7	40.8	1.17
滋賀県	47.5	52.5	42.2	1.24
京都府	64.4	68.6	60.2	1.14
大阪府	55.4	60.6	50.0	1.21
兵庫県	54.6	57.3	51.8	1.11
奈良県	58.3	62.0	54.3	1.14
和歌山県	41.8	45.5	37.9	1.20
鳥取県	38.1	41.5	34.5	1.20
島根県	39.6	43.0	35.8	1.20
岡山県	46.0	47.8	44.0	1.09
広島県	53.4	56.5	50.2	1.13
山口県	37.8	41.0	34.5	1.19
徳島県	43.2	43.0	43.3	0.99
香川県	47.7	50.1	45.2	1.11
愛媛県	44.7	47.1	42.1	1.12
高知県	40.8	41.6	39.9	1.04
福岡県	47.4	51.5	43.2	1.19
佐賀県	39.1	42.4	35.8	1.19
長崎県	36.9	39.0	34.7	1.12
熊本県	40.6	42.7	38.3	1.11
大分県	36.8	40.4	33.0	1.22
宮崎県	36.4	38.8	33.8	1.15
鹿児島県	35.1	40.8	29.2	1.39
沖縄県	37.3	39.3	35.1	1.12
全国	51.5	55.4	47.4	1.17

\*19歳人口ベースの個人込みの4年制大学進学率(%)である。  
\*文科省『学校基本調査』(2015年度)より筆者作成。

次の性差別は、結婚後に女性は夫の姓を使うことだ。ある調査によると、96%のカップルが夫の姓にしている。妻の姓を名乗る夫婦は4%しかいない。外国人の私はこれを知った後でちょっと女性は不公平な待遇を受けたという感じを持っていた。しかし、姓を変える日本女性はこれに対してぜんぜん嫌いな感じを持っていなくて、むしろ「彼の

苗字になれるのが嬉しい」という気持ちを持っている。三番目の性差別は、会社で女性が受ける待遇だ。会社でお茶汲みをする人は大体女性だが、お茶汲み、掃除は自分の仕事ではないと思っている男性が今でもたくさんいる。それに、女性が管理職の仕事をしたいなら、男性よりもっと難しい。それ以上に、育児休暇も短い。

## 2.3. 日本の子供はどんな性別教育を受けたか？

私が日本の子供達を受けた性別教育について日本人ゲストの海老谷成臣さん、アダムス・倫子さんとアデー・日花里さんに聞いた。皆さんは今成人だから、自分が子供時代に受けた教育について話した。海老谷さんは子供の時に特別な性別教育をもらわないんだが、男の子は男らしいことをさせていて、女の子は女らしいことをさせていた。一つの例は、学校でいるときに、重い物を持つ場合があるなら、男の子はその仕事をするべき期待がある。それに対して、女の子は教室で掃除のような女らしいことをする。倫子さんの場合も、学校で特別な性別クラスがなかったが、女性はニッティングのような女らしいことをしていた。その以外は、倫子さんはお兄さんとお姉さん別に一人がいる。小さい頃に三人一緒に家事を分担したけど、いつからお兄さんはぜんぜん家事をしな

くなった。日花里さんの経験は、小学校の時に、体育課があるなら、男の子はショーツを穿いてもいいけど、女の子はパンツしか穿かなくて、とても恥かしいだ。結論として、日本では特な性別教育がないので、子供達は多方面から性的な影響を受けた。

## 2.4. 日本人は、同性愛に対して、どう思う？

私は最初同性愛のことを了解始めたのは小学校の時に。日本アニメから、BL (BOYS'LOVE) のコンセプトを習った。中国でも日本でも、BL が好きな女性が多いそうだ。だから、この問題を初めて考えた時に、日本人は同性愛に対して態度は多分積極的だと思った。でも、事實は、ライティングアシスタントと日本人ゲストに聞いた後で、日本人は実は同性愛をまだ受けることができないことを分かった。リッキーさんは、漫画とアニメの中に、同性愛はとても綺麗な人だが、日常生活に見た同性愛はほとんどかっこいいではなくて頭が禿だ男だから、綺麗なBL が好きな人々はそんな現実が好きになることができない。締めくくりをつけて、現実と漫画が違う。現実には、皆さんは同性愛者を見たら、見たところその人を尊敬しているけど、暗々裏にあの人は「サークル」以内の人を考えていない。日本文化を少し了解している人達が分かっている常

識は、日本人は自分のサークル以内の人しか遊びたくない。だから、サークル以外の人になるのはとても大変なことだ。けれども、日本ではオカマは、びっくりしても、人気がたくさんある。その理由は、オカマたちは、一般人の絶対反面だ。自分とぜんぜん違う極端になったら、皆さんが受けることができる。

### 3 . 終わりに

日本と世界中のたくさん他の国と同じく、前から男尊女卑意識がある国だ。現代の日本も、他の国と一緒に以前より、もっと平等になった。ところが、他の先進国のアメリカと英国と比べて、日本はまだまだ最不平等な国だ。日本と他の国と比べて目立つのは言語で、それは今の日本まだ性差別問題が厳しい原因かもしれないと思う。まずは、日本語に男性語と女性語があることだ。毎日言語を使っているときに、全然注意しなくて、根強いジェンダー差別のマインドセットを受けつた。快報は、今の日本は二人でいる時にはできるだけ対等に分担しようという精神を持つ草食男性が好きな女性は多くなった。そして、男性ならば女性に性的に迫って当たり前というふうに考えなくて、育児も助ける男性もだんだん増えている。将来、日本の性差別問題はぜひもっと良くなると思

う。性差は自然な産物だから、男性と女性は自分の長所を利用して、男女分業をするのは一番効率良い方案だ。もし性差をよく利用するなら、平等化をはかりたり、効率もあがりたりするべきだ。その代わりに、性差は女性の短所を見て、差別待遇をするなら、社会進歩の実現は難しい。

#### 参考文献

カスニ・ラトナーヤカ（2017年2月16日）「日本における男女差について」

<http://www.guic.gunma-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2017/03/%E3%82%AB%E3%82%B9%E3%83%8B%E3%83%BB%E3%83%A9%E3%83%88%E3%83%8A%E3%83%BC%E3%83%A4%E3%82%AB.pdf>

舞田敏彦（2015年10月6日）「大学進学率の男女差が物語る日本のジェンダー意識」<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2015/10/post-3966.php>

「結婚時に妻の姓を名乗る夫婦の役割は？手続きやデメリットはある？」（2017年7月8日）<https://xn--3kq65ey3m5z9a.com/family-name-rate-1865>